

# タイムテーブル

6月23日(土)

4F 国際会議場

8:00			<b>理事会</b> 8:00~9:00 会場: 6F 606
8:15~	<b>受付開始</b> (4F ロビー)		
9:00		9:00~9:05 開会挨拶 津留 徳	
9:05~9:55	<b>一般演題1</b> 「症例・心理」	座長: 羽田 敦子 ※12分 × 4演題	
9:55~11:10	<b>奨励賞候補演題</b>	座長: 東 勇志 ※12分 × 6演題	
11:15~12:05	<b>教育講演</b> 「夜尿症治療における精神療法の理論と実際」	演者: 山崎 知克 座長: 帆足 英一	
12:15~13:15	<b>ランチョンセミナー</b> 「夜尿症に対するデスマプレシン療法 —過去から未来—」	演者: 赤司 俊二 座長: 河内 明宏	
13:15~13:45	<b>総会</b>		
13:50~14:30	<b>一般演題2</b> 「潜在性二分脊椎」	座長: 梶原 充 ※12分 × 3演題	
14:30~15:20	<b>一般演題3</b> 「アラーム療法」	座長: 宮川 征男 ※12分 × 4演題	
15:20~16:20	<b>シンポジウム</b> 「QOLを高めるための生活改善療法に エビデンスを」	【シンポジスト】 藤永周一郎、西 美和、 山西 友典、藤原 順子 【座長】 西 美和	
16:20~17:00	<b>ミニワークショップ</b> 「会員間の齟齬を埋めるために」	【コメンテーター】吉田 茂、 大友 義之、津ヶ谷正行、中井 秀郎 【座長】金子 一成	
17:00			
17:00~17:10	閉会挨拶 次期会長挨拶 津留 徳 東 勇志		
17:30~18:30			<b>懇親会</b> <b>奨励賞発表・表彰式</b> 17:30~18:30 会場: 7F 大会議室

## 第23回日本夜尿症学会学術集会 プログラム

平成24年6月23日(土)

9:00 開会挨拶 津留 徳(学術集会会長)

9:05～9:55 一般演題1「症例・心理」

座長：羽田 敦子(公益財団法人田附興風会医学研究所  
北野病院 小児科)

- (1) 9:05～9:17 「急性散在性脳脊髄炎(ADEM)罹患後治癒した夜尿症例」  
廣田 貴久(社会医療法人杏嶺会一宮西病院 小児科)
- (2) 9:17～9:29 「東日本大震災後の夜尿症児の夜尿頻度の変化について」  
篠崎 千春(新都心こどもクリニック)
- (3) 9:29～9:41 「膀胱型、混合型夜尿症に対する併用療法の成績」  
岩間 正文(三菱名古屋病院小児科)
- (4) 9:41～9:53 「夜尿症治癒症例の排尿量、夜間尿量、尿浸透圧の検討」  
赤司 俊二(新都心こどもクリニック)

9:55～11:10 奨励賞候補演題

座長：東 勇志(あづま泌尿器科)

- (1) 9:55～10:07 「難治性夜尿に対する入院治療の意義」  
八十嶋 さくら(関西医科大学小児科学講座)
- (2) 10:07～10:19 「膀胱容量低下型夜尿症に対する初回三者併用療法とstep up方式治療との比較」  
渡邊 常樹(埼玉県立小児医療センター腎臓科)
- (3) 10:19～10:31 「少量ずつもれるタイプの夜尿症についての検討」  
上杉 達也(岡山市立市民病院泌尿器科)
- (4) 10:31～10:43 「新しい夜尿アラーム開発の取り組み」  
上杉 達也(岡山市立市民病院泌尿器科)
- (5) 10:43～10:55 「当科における難治性夜尿症に対する仙骨表面治療的電気刺激療法」  
内藤 泰行(京都府立医科大学大学院医学研究科 泌尿器外科学)
- (6) 10:55～11:07 「夜尿症男児における後部尿道弁(PUV)の有病率の検討」  
中村 繁(自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児泌尿器科)

11:15～12:05 教育講演「夜尿症治療における精神療法の理論と実際」

演者：山崎 知克(浜松市子どものこころの診療所)  
座長 帆 足 英一(ほあし子どものこころクリニック)

12：15～13：15 ランチョンセミナー「夜尿症に対するデスマプレシン療法 ー過去から未来ー」

演者：赤 司 俊 二（新都心こどもクリニック）

座長 河 内 明 宏（京都府立医科大学大学院医学研究科  
泌尿器外科学）

13：15～13：45 総会

司会：金 子 一 成（日本夜尿症学会 理事長）

13：50～14：30 一般演題2「潜在性二分脊椎」

座長：梶 原 充（広島大学医学部 泌尿器科）

(1) 13：50～14：02「腰椎・仙椎の椎弓癒合不全を認めた難治性夜尿症 11 例の検討」

望月 貴博（大阪警察病院 小児科）

(2) 14：02～14：14「当院における夜尿症患者の臨床的検討」

杉本 周路（川越三井病院泌尿器科）

(3) 14：14～14：26「夜尿症患者の治療成績：北海道大学病院泌尿器科での経験」

三井 貴彦（北海道大学大学院 腎泌尿器外科学）

14：30～15：20 一般演題3「アラーム療法」

座長：宮 川 征 男（津山第一病院）

(1) 14：30～14：42「一晩に夜尿を2回以上の症例に対する DDAVP とアラーム併用療法  
の予後と新たな取り組み」

河内 明宏（京都府立医科大学大学院医学研究科 泌尿器外科学）

(2) 14：42～14：54「夜尿症に対するアラーム療法：治療効果に季節差があった」

白柳 慶之（神奈川県立こども医療センター 泌尿器科）

(3) 14：54～15：06「アラーム療法の治療経験」

津ヶ谷 正行（豊川市民病院泌尿器科）

(4) 15：06～15：18「夜尿アラームの経時的治療成績」

相川 務（相川ステーションクリニック小児科）

15：20～16：20 シンポジウム「QOL を高めるための生活改善療法にエビデンスを」

座長：西 美 和（広島赤十字・原爆病院 小児科）

(1) 高 Ca 尿症と夜尿症との関連：自験例をふまえて

藤 永 周一郎（埼玉県立小児医療センター 腎臓科）

(2) 水分摂取の時間と量の問題点と対策

西 美 和（広島赤十字・原爆病院 小児科）

(3) 昼間遺尿児の排尿訓練 時間排尿、排尿抑制、尿中断（尿線途絶）

山 西 友 典（獨協医科大学排泄機能センター）

(4) 夜尿症児の自律神経機能・睡眠異常への治療的対応

藤 原 順 子（きぬ医師会病院 小児科）

16：20～17：00 ミニワークショップ「会員間の齟齬を埋めるために」

座長：金子一成（関西医科大学 小児科学教室）

【アンケート調査結果報告】

津留 徳（つるのぼるクリニック）

【コメンテーター】

(1) 吉田 茂

（名古屋大学医学部附属病院 メディカル IT センター）

(2) 大友 義之（順天堂大学附属 練馬病院 小児科）

(3) 津ヶ谷 正行（豊川市民病院 泌尿器科）

(4) 中井 秀郎

（自治医科大学 とちぎ子ども医療センター 小児泌尿器科）

17：00～17：10 閉会挨拶 津留 徳 次期会長挨拶 東 勇志

17：30～ 懇親会

※奨励賞発表・表彰式